愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	社会的養護内容		
担当者(Instructors)	加藤 潤	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

虐待や貧困など、様々な理由で家庭で生活できない子どもたちを養育する社会的な役割として社会的養護があります。子どもたちを取り巻く環境の背景には、特別なものではない誰でも起こりうる社会問題があり、それに対して児童相談所や児童福祉施設、里親といった社会的養護の機関は、日々弛まぬ努力をしています。本科目では、社会的養護の現場の視点をもとに、これまでの学びから、事例検討やグループワーク通してさらに発展させます。子どもと家庭を取り巻く様々な課題と、社会の持つ本質的な課題を捉え、それを支える社会的養護に関して理解を深めていきましょう。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	前半は、グループごとにテーマ別研究（社会的養護に関わる機関や施設、法律、社会問題）を行い、発表をします。後半は、事例検討や身近な問題をとおしたディスカッション、カードゲームを使ったソーシャルスキルトレーニングをとおして、座学だけではない主体的な学びを目指します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本講義の進め方、評価方法について 社会的養護の振り返り	□
第2回	現代社会と家庭を取り巻く環境～社会的養護の役割～	子育て家庭が抱える悩みや問題を、事例検討を踏まえて社会的養護の役割と結びつけて学ぶ。	□
第3回	社会的養護の歴史①～戦後と現在の比較～	戦後と現在の子どもに対する考え、社会的養護の在り方の変遷を学ぶ中で、変化してきた子どもの権利保障についてディスカッションを交えて学ぶ。	□
第4回	社会的養護の歴史②～バブル以降の経済史を踏まえた比較～	バブル以降の経済史と社会問題をふまえて現在抱える子どもを取り巻く社会問題についてディスカッションを交えて学ぶ。	□
第5回	社会的養護を担う様々な児童福祉施設	児童福祉施設と機関について学ぶ。	□
第6回	児童福祉施設における日常支援	児童福祉施設の日常の支援について、事例や映像をもとに学ぶ。	□
第7回	社会的養護における家族支援①	家族支援における多職種協働について学ぶと同時に、家族が抱える課題と背景について事例を踏まえて学ぶ。	□
第8回	社会的養護における家族支援②	家族再統合に向けた事例検討をもとに、保護者が抱える悩みや葛藤を映像とともに学ぶ。	□
第9回	社会的養護における自立支援①	社会的養護における自立支援の取り組みを、就労支援を軸に事例を踏まえて学ぶ。	□
第10回	社会的養護における自立支援②	社会的養護における自立支援の取り組みを、進学支援を軸に事例を踏まえて学ぶ。	□
第11回	里親について	里親の種類や待遇、制度を学ぶ。	□
第12回	ライフストーリーワーク	社会的養護の中で実践が積み重ねられている生い立ち整理について、自分史づくりを踏まえて学ぶ。	□
第13回	望まない妊娠と社会的養護	社会的養護に関わる大きな共通点でもあり、身近に起こりうる問題としてある望まない妊娠。ドキュメントを用いて学ぶ。	□
第14回	若者の貧困と社会的養護	社会的養護の枠組みとして18歳という上限が撤廃される動きの中で、一般家庭においても若者の貧困は様々な問題・生きづらさが絡んでいることを事例を踏まえて学ぶ。	□
第15回	講義全体の振り返り	講義全体の振り返り	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・ネットニュースや新聞などで、社会的養護に関する記事に注視すること（3-４時間程度）。 ・グループのメンバーとの役割分担と余裕のあるスケジューリング。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

講義開始時に配布するリアクションペーパーに講義終盤に記入し提出すること。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	グループワークによる研究発表や事例検討をとおしたディスカッション・発表をとおして主体的と協働性を養うことができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	社会的養護の制度や政策動向を学ぶことで、子育てやひとり親家庭などの子どもを取り巻く社会保障制度の全体像を理解する
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	地域や社会のニーズと専門性を結び付け、子育て支援・保育・幼児教育・学校教育・若者支援などの地域連携について学び、説明ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		70%	30%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・期末レポート:6月上旬に課題レポートの内容を提示します。その内容を評価の70%とします。・毎回提出してもらうリアクションペーパーの内容を０点～２点×15回で計算し、評価の30%とします。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『みらい⊠　子どもの福祉ブックス　社会的養護Ⅱ』（株）みらい	9784860154677
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『みらい⊠　子どもの福祉ブックス　社会的養護Ⅰ』（株）みらい	9784860154981
2		
3		
4		
5		